令和４年度（令和３年度実施事業分）主要事業評価シート					No.	9-1
PDCA	主要事業名	市民税等徴収事務	部課名	総務部収納課	担当	杉浦
					内線	277

P 総合計画との関係性と予算根拠

総合計画： ５ － ３ － ２ 単位施策： 財政運営

全体事業期間： 令和 3 年度 ～ 3 年度 全体事業費等： 13,446 千円

会計 歳出科目 02.02.02.03.01

３か年実施計画（当該年度事業費等）： ― 千円

事業概要等

事業概要： 税等負担の公平性を確保するため、賦課・徴収部門が一体となり、『徴収体制の効率化』『現年度課税分の徴収強化』『滞納処分の徹底』の３本柱からなる「市税等収納向上基本方針」に基づき市税や保険料の収納率の向上に努めます。

事業目的： 市税等の収入を確保し、収入未済額の圧縮を図ります。

事業内容： 市県民税、法人市民税、固定資産税・都市計画税、軽自動車税（種別割）、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の収納及び徴収を行います。

問題点・課題等： 高い収納率（現年課税分）の維持すること及び、累積滞納分については、入念な調査により（徴収と停止）を判断する必要があります。

予算額 13,446 千円

財源内訳

市費 8,092 千円

国費 0 千円

県費 2,717 千円

その他 2,637 千円

主要事業とする理由

市税等収入は自主財源の根幹であり、市税等の徴収は、税等負担の公平性及び納税秩序のため極めて重要であるから。

得られる成果

長期的かつ安定的な財源を確保することが出来ます。

目標値や目指すべき状態		令和元年度	令和２年度	令和３年度	単位
収納率（現年課税分）	実績値	99.81	99.61	―	%
	目標値	99.80	99.82	99.82	%
収納・停止率（滞納繰越分）	実績値	53.62	53.45	―	%
	目標値	60.00	60.00	60.00	%
	実績値				
	目標値				

予算見積書で活用

目標項目（予算計上時に作成）

D 得られた成果と実績値

決算額 12,658 千円

得られた成果

納付指導及び滞納処分を行うことで、現年課税分及び滞納繰越分について高い収納率を維持し、財源の確保を行うことが出来た。

成果指標		令和３年度	単位
収納率（現年課税分）	実績値	99.85	%
	目標値	99.82	%
収納・停止率（滞納繰越分）	実績値	68.50	%
	目標値	60.00	%

C 課題の整理

事業の評価・課題

A

現年課税分の収納率は99.85%（前年度99.61%）で、目標を0.03ポイント上回る結果となった。滞納繰越分については、収納・停止率が68.50%（前年度53.45%）で目標値を8.5ポイント上回った。これは、令和２年度に行った新型コロナウイルス感染症に係る徴収猶予の特例制度の対象となった滞納繰越分について納付勧奨を実施し、確実に収納したことによるものである。

A 課題解決に向けた今後の方向性

今後の事業の方向性

改善推進

現年課税分の高い収納率を維持するため、引き続き初期滞納者への早期財産調査・滞納処分を強化していくとともに、クレジット決済を始めとするキャッシュレス化に対応した納税環境整備を実施していく。滞納繰越分については、財産調査の入念に行い、滞納処分もしくは執行停止につなげていく。

観点別評価

必要性		有効性		効率性	
①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		
③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ある	⑧受益者負担適正化余地	ある

主要施策の成果報告書で活用

評価項目（決算時に作成）